

そこが聞きたい!!

一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)



利便性の高いまちづくりを目指して

土方 隆司（新政みらい）



録画配信の
2次元コード

◆まちづくりの方針について

①狭山市人口ビジョンによると、約20年後には人口が現在の14万人台から10万人台になる予測だが、今後のまちづくりに対する基本的な方針は。

②集約化や適正化を進めるにあたり、医療・教育・商業など都市機能の維持・充実に対する市の方針は。

③立地の適正化と利便性の高いまちづくりに向けた市長の所信は。

都市建設部長 ①“地域の特性に応じたコンパクトなまちづくり”を目指し、都市機能の集約化や立地の適正化により人口が減少しても住みやすいまちづくりを進めていく。

②鉄道駅周辺の中核拠点や地域拠点に都市機能

誘導区域を設定し、市民が効率的にサービスを受けることができるよう検討していく。

市長 ③立地適正化計画を策定し、厳しい社会情勢の変化にも対応できるような、都市構造や地域特性に応じたまちづくりを推進していく。



その他のテーマ

▶ 公共施設とインフラの老朽化対策 ▶ 防災対策



一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、18名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



生活の安定・向上のために、まず農業政策

町田 昌弘（健政会）



録画配信の
2次元コード

◆目指すは無理なく楽しく持続できる農業

人・農地プランが地域計画として法定化されたが、今後どのように策定していくのか。

環境経済部長 農地の所有者や耕作者に対して、令和6年度に、農業経営形態をはじめ、将来における農業経営継続の意思や後継者の有無のほか、耕作できない農地の扱いなどについてのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて地域内で話し合い、将来の地域農業の在り方について合意の上、公告する。

◆農家一軒一軒に寄り添い親身な指導を

遊休農地の面積の変化と本市の特徴は。

環境経済部長 平成27年度と令和4年度の比較では、本市は約1.2%の増加、県全体では、約1.9

%増加している。増加の要因としては、農地所有者の高齢化や後継者不足などによると認識しており、これは本市に特化した状況ではなく全国的な傾向と考えている。

◆若い世代に農業の魅力を感じていただき、支えていくには

新規就農者数の変化と本市の特徴は。

環境経済部長 毎年2人から8人が新規に就農している。本市の特徴としては、直近10年の新規就農者45人のうち、20代、30代で就農を開始している方が39人と、8割以上を占めていることが挙げられる。



特徴を活かした
持続可能な農業を



《G I G Aスクール構想》小中学校のICT活用の状況は！

内藤 光雄（新政みらい）



録画配信の
2次元コード

◆小中学校のICT活用に向けた環境整備について

通信ネットワークの整備状況と情報端末(タブレットなど)の配備状況は。

学校教育部長 全ての小中学校において、無線LANによるネットワークが完備されている。情報端末は令和2年度末で10,043台調達しており、5年5月1日時点の児童生徒数は9,449人であり、一人1台配備されている。

◆ICTの活用状況と今後の展望について

①情報端末を活用した授業時間の推移は。

②今後のデジタル教材などの進化を踏まえ、ICTの効果的な活用への展望は。

その他のテーマ ▶ 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況は！



授業で活用している情報端末



デザインマンホールふた・マンホールカード／下水道PRに

金子 広和（創造）



録画配信の
2次元コード

狭山市市民交流センター2階の総合案内におけるマンホールカードの配布について、現状と今後の見通しは。

上下水道部長 月平均150枚程度を配布しており、一定の需要はあると認識している。なお、本市のイメージアップのツールとして活用できるものと考えているので、さらなる活用について検討していく。



狭山市のマンホールカード

役目を終えたマンホールのふたが令和3年12月に販売されたが、事業に対する総評は。

上下水道部長 1枚2,000円で販売を行ったところ、応募件数37件、抽選により予定していた17枚を完売した。今後は、コレクションとしての希少性もあることから、数年の間隔を空けて実施したいと考えている。

「第1回埼玉デザインマンホール人気投票（一般・キャラクター部門）」が実施され、一般部門は川越市が1位、所沢市が2位、キャラクター部門は入間市が1位であった。飯能市や日高市の参加も確認できるも、狭山市のエントリーは両部門とも確認できなかったが、その理由は。

上下水道部長 作製から30年以上経過しており、デザイン的にも斬新さが失われているものと判断しエントリーを見送った。今後、新たなデザインマンホールを作製した際には、埼玉デザインマンホール人気投票に参加したい。